



消化器内科 馬場先生のご紹介

今月号は、消化器内科の馬場 毅 先生をご紹介します。
7月より当院の消化器内科副部長に就任し、毎週水曜日午前の外来診療と、内視鏡検査を担当しております。消化器の中でも専門は肝臓・胆道・膵臓です。



馬場 毅 先生

消化器内科の診療日が、週2日
から“週3日”になりました！

消化器内科診療表

【初診受付 午前 8:45~11:00】

	月	火	水	木	金
午前		山室 渡	馬場 毅	※山室 渡 /牧野 博之	

※山室 渡⇒第 2. 4 週診療 / 牧野 博之⇒第 1. 3. 5 週診療



✦ 沈黙の臓器 肝臓

「肝心かなめ」という言葉もある様に、肝臓は特に重要な臓器であり、栄養の消化吸収や毒物の解毒をしています。障害されたときは疲れやすい、食欲不振、おなかの上の方が痛む、皮膚が黄色くなるなどの症状が出ますが、肝臓は処理能力の余力が大きいため、多少の障害であれば無症状のことも多く、「沈黙の臓器」とも呼ばれています。症状が出た時にはとても深刻な状態になっている事が多いので、自覚症状が無くても油断せず早期に異常を見つけることが重要です。

✦ あなどれない脂肪肝

健康診断や人間ドックで見つかる事が多い異常としては脂肪肝があります。最近では肝硬変や肝臓癌に進む危険がある脂肪肝（非アルコール性脂肪肝）も見つかっているので、軽く考えずに食事をはじめとした生活習慣の改善を心がける必要があります。



✦ 感染に気づいていない人も多い C 型慢性肝炎

特に注意を要する肝臓病はウイルス性慢性肝炎であり、なかでも C 型慢性肝炎は肝臓癌の 70%の原因となっています。感染原因である輸血については感染予防策が講じられ、感染後の肝炎治療薬も最近の進歩で有効率が高くなってきましたが、問題は、自覚症状が乏しく、肝硬変や肝臓癌に進行するまで気づかない事が多い点です。現在日本には約 150 万人の C 型肝炎の感染者がいるとされていますが、そのうち半数近くは感染に気づいていないといわれます。

